

監視・影響調査専門調査会の今後の進め方について

20 年度テーマ案：

新たな経済社会の潮流の中で生活困難を抱える男女について（仮題）

1. 問題意識

- 離婚や未婚者の増加、雇用・就業をめぐる状況の変化、グローバル化・情報化など経済社会環境が大きく変化する中、ひとり親家庭、不安定雇用者、外国人等、生活に困難を抱える人々の状況は多様化かつ深刻化していることが懸念される。
- 特に母子家庭等の経済的自立の困難には雇用における男女差が影響しているなど、生活困難の背景に男女共同参画をめぐる問題が潜む場合も少なくない。
- このような新たな生活困難者の問題について、男女共同参画の観点からその問題の所在を探ると共に、経済社会環境の変化における生活困難者の実態に即した支援の在り方を検討することが求められる。

2. 調査内容

- こうした問題意識の下、
 - ・ 経済社会の変化がもたらす新たな生活困難者とはどのような層か
 - ・ 生活困難者の生活実態はどうか、なぜその状況から抜け出せないのか
 - ・ 生活困難者の社会参加と自立を支援するための施策の在り方を明らかにするための調査検討を行う。

（参考）本テーマに関連する主な施策

男女共同参画基本計画（第2次）の以下の部分のうち関連する施策

2. 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革
3. 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保対策の推進
5. 男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援
7. 女性に対するあらゆる暴力の根絶
10. 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実

その他、テーマに関連する施策